

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年10月03日

計画の名称	益田市における下水道事業の推進（防災・安全）													
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	益田市													
計画の目標	浸水対策の推進により安全・安心な地域の形成を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		76	A	76	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H31当初）		（H35末）
1	下水道による都市浸水対策達成率を73.0%（H31）から73.4%（R5）に増加			
	浸水対策を実施すべき区域のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 都市浸水対策達成率＝（概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積（ha））／（浸水対策を実施すべき区域の面積（ha））	73%	%	73%
2	雨水管理総合計画の策定 0団体(H31)から 1 団体(R5)の増加			
	浸水対策を実施すべき区域、目標とする整備水準、当面・中期・長期 の施設整備の方針等の基本的な事項を定める。 雨水管理総合計画の策定団体	0団体	団体	1団体

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	益田市	直接	益田市	管渠（ 雨水）	新設	管渠整備事業（益田排水 区）	雨水管 □1200~800×1000、 U4000×5500~2300 L=1,200m	益田市	■	■	■	■	■	30		-	
	A07-002	下水道	一般	益田市	直接	益田市	管渠（ 雨水）	新設	管渠整備事業（益田排水 区）	流出解析 1 式、雨水管理総合 計画 1 式	益田市				■	■	46		-	
												小計						76		
												合計						76		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

益田市において評価を行い確定

事後評価の実施時期

令和7年9月

公表の方法

益田市のホームページで公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

須子中島第1排水区にて今後進む雨水幹線整備事業が具体化した。
雨水管理総合計画の策定により、今後の方針が定まった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

引き続き、下水道施設による浸水対策を推進し、安全・安心な地域の形成に努める。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	都市浸水対策達成率 = （概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積（ha）） / （浸水対策を実施すべき区域の面積（ha））		
	最 終 目標値	73%	
	最 終 実績値	73%	
2	雨水管理総合計画の策定団体		
	最 終 目標値	1団体	
	最 終 実績値	1団体	